



主催：NPO法人築地居留地研究会

後援：中央区

## 2025年9月度定例研究報告会

テーマ：『長谷川武次郎のちりめん本「日本昔噺」シリーズ

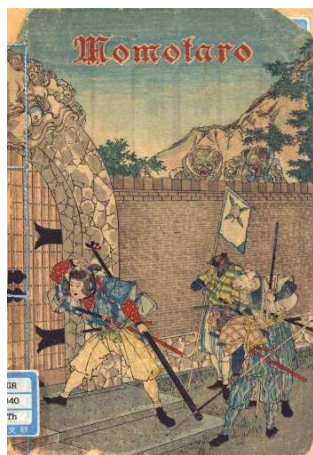
―米国宣教師デイビッド・タムソンの貢献を中心に―

### 講演内容：

明治18(1875)年、長谷川武次郎はそれまでにない類の書物を刊行しました。日本橋で生まれた彼は、築地居留地でカロザース夫妻から英語を学び、後にデイビッド・タムソンから受洗しました。草双紙でお馴染みの昔話を英仏独語などに翻訳し、美しい挿絵を添えて出版するという斬新な企画を思い立ち、実行に移したのです。まず、タムソンが6つの昔話を平易な英語に訳出、フランス語とドイツ語にも重訳されました。小林永濯という優れた絵師による精緻で魅力的な挿絵を添えた欧文昔噺絵本は注目を集めました。和紙による和綴じ本でありながら本文は活版印刷による外国語であり、挿絵は木版印刷による多色刷という新旧の技術を駆使した欧文挿絵本は画期的な出版物だったのです。その後、「縮緬紙(ちりめんがみ)」版を導入して人気を博したため、これらの本は、〈ちりめん本〉として知られるようになりました。タムソンの貢献を中心にお



舌切雀



桃太郎



デイビッド・タムソン宣教師



日時：2025年9月27日(土)

14:00~16:00

(13:30~受付)

場所：カトリック築地教会

2階 ホール 80名

入 場 無 料



尾崎るみ氏

講師紹介：尾崎るみ氏 (白百合女子大学児童文化研究センター研究員、元白百合女子大学他非常勤講師)

1957年東京生まれ。1979年国際基督教大学卒業。1994年白百合女子大学大学院文学研究科児童文学専攻(修士課程)修了。博士(文学)(フェリス学院大学)。『若松賤子―黎明期を駆け抜けた女性』(港の人、2007)において第31回日本児童文学学会奨励賞受賞。「弘文社のちりめん本『欧文日本昔噺』シリーズの誕生」をはじめとする多くのちりめん本についての論考を『白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集』第23号~第28号(2020年-2025年)に発表。『ちりめん本 海を渡った日本昔ばなし―Japanese Fairy Tales』(東京美術、2025)を監修。明治期の児童文学・文化について研究を続けている。



# カトリック築地教会へのアクセス

中央区明石町 5－26



## 地下鉄にてご来場の場合

- 新富町（地下鉄有楽町線）駅 6 番出口から徒歩 5 分
- 築地（地下鉄日比谷線）駅 3 番出口から徒歩 6
- 
- 主催：N P O 法人築地居留地研究会

後援：中央区

お問合せ：03－3551－7595（平日 9 時～17 時）